平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　天馬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7958　URL　http://www.tenmacorp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　長幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員 経営管理部長　(氏名) 堀　隆義　TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,376	6.0	915	133.1	1,095	131.9	536	—
23年3月期第2四半期	25,838	64.1	393	—	472	8.6	△4,528	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△1,096百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　△3,892百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.43	—
23年3月期第2四半期	△161.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	66,612	56,222	84.4	2,038.68
23年3月期	67,496	57,594	85.3	2,088.43

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　56,221百万円　23年3月期　57,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00			
24年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	5.3	2,000	106.4	2,300	149.7	1,400	—	50.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	29,813,026 株	23年3月期	29,813,026 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,235,607 株	23年3月期	2,235,529 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	27,577,473 株	23年3月期2Q	28,078,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績予想に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故により、企業活動の停滞、消費マインド低下に伴う個人消費の低迷等、深刻な影響を受けました。期の後半にはサプライチェーン復旧による生産上向き、個人消費の下げ止まり等、持ち直しの兆しも見られましたが、欧米の財政不安による世界経済の減速懸念、急激な円高進行、原油価格の高止まり等、先行き不透明感が強まっております。

このような厳しい状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野が新製品やカラー企画製品を中心に売上高を伸ばし、また、工業品合成樹脂製品分野は世界的な不況からの回復の過程で受注が増加し、前年同期との比較では旧PT. SUMMITPLAST（平成23年１月にPT. SHOWPLA　INDOを吸収合併し、商号をPT. TENMA INDONESIAに変更）が連結対象に加わったこと等もあり、売上高が増加しました。

この結果、売上高は273億76百万円（前年同期比106.0%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加等により営業利益が９億15百万円（前年同期比233.1%）となり、経常利益は前年同期との比較では為替差損が減少したこと等により10億95百万円（前年同期比231.9%）となりました。

また、東日本大震災による災害損失等の特別損失があり、四半期純利益は５億36百万円（前年同期は投資有価証券評価損を主因として45億28百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

デフレの進行と個人消費の低迷が続く厳しい状況にありましたが、ハウスウエア合成樹脂製品分野につきましては、新製品やカラー企画製品を中心に売上高が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は、109億37百万円（前年同期比114.9%）となり、セグメント利益（営業利益）は７億82百万円（前年同期比271.0%）となりました。

（中国）

世界的な不況からの回復に伴い、工業品合成樹脂製品分野の受注が増加し、地域内の各グループ会社の業績が回復途上にありましたが、東日本大震災の影響で受注の減少に見舞われました。また、前年同期との比較では円高の進行により円貨換算額が縮小しております。

この結果、当セグメントの売上高は、79億58百万円（前年同期比88.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は２億34百万円（前年同期比103.6%）となりました。

（東南アジア）

前年同期との比較では旧PT. SUMMITPLASTが連結対象に加わったこと等により売上高が増加しました。利益面はPT. TENMA INDONESIAが前年同期比減益となりましたが、地域内の他のグループ会社は増益、ないし横這いとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、84億82百万円（前年同期比115.7%）となり、セグメント利益（営業利益）は３億24百万円（前年同期比99.6%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて８億83百万円減少し、666億12百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が12億39百万円増加しましたが、投資有価証券が時価の下落により14億33百万円、設備投資等により現金及び預金が６億47百万円、それぞれ減少したこと等によります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて４億89百万円増加し、103億91百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が１億80百万円、未払金の増加等によりその他流動負債が４億19百万円増加したこと等によります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13億72百万円減少し、562億22百万円となりました。これは、利益剰余金が２億60百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が14億15百万円、為替換算調整勘定が２億17百万円、それぞれ減少したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて15億73百万円減少し、71億36百万円（前年同期比は４億79百万円の減少）となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の増加12億94百万円、たな卸資産の増加２億71百万円等がありましたが、減価償却費12億64百万円、税金等調整前四半期純利益８億67百万円等があり、５億65百万円の増加（前年同期比は15億30百万円の減少）となりました。

（投資活動よるキャッシュ・フロー）

定期預金の払戻163億82百万円等の収入がありましたが、定期預金の預入173億１百万円、有形固定資産の取得10億53百万円等の支出があり、16億89百万円の減少（前年同期比は19億73百万円の増加）となりました。

（財務活動よるキャッシュ・フロー）

配当金２億77百万円等の支出があり、２億78百万円の減少（前年同期比は４百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第２四半期連結累計期間の業績は、平成23年８月５日に公表いたしました業績予想を上回りました。詳細につきましては、本日（平成23年11月４日）別途公表いたしました「平成24年３月期第２四半期連結累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、欧米の財政不安やタイの大洪水の影響で世界経済や国内経済の先行きに一段と不透明感が強まっておりますので、現時点におきましては、平成23年８月５日の公表値を変更せず、この達成に努めてまいります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

① 税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,164,829	21,517,393
受取手形及び売掛金	10,126,059	11,364,598
商品及び製品	1,607,527	1,897,946
仕掛品	399,158	351,200
原材料及び貯蔵品	2,496,818	2,504,080
繰延税金資産	303,198	147,707
その他	1,249,426	1,267,784
貸倒引当金	△10,532	△9,491
流動資産合計	38,336,483	39,041,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,026,830	6,761,226
機械装置及び運搬具（純額）	7,640,812	7,869,246
その他	3,093,491	3,100,955
有形固定資産合計	17,761,133	17,731,427
無形固定資産	2,003,271	1,887,275
投資その他の資産		
投資有価証券	7,990,425	6,557,546
繰延税金資産	1,153,978	1,111,319
その他	261,123	294,183
貸倒引当金	△10,840	△10,840
投資その他の資産合計	9,394,686	7,952,207
固定資産合計	29,159,090	27,570,909
資産合計	67,495,573	66,612,126
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,699,457	6,879,217
未払法人税等	42,060	118,910
賞与引当金	444,030	440,280
災害損失引当金	58,004	9,331
その他	1,781,016	2,200,493
流動負債合計	9,024,567	9,648,231
固定負債		
退職給付引当金	186,455	89,245
役員退職慰労引当金	580,366	585,446
資産除去債務	10,365	9,899
繰延税金負債	100,144	57,710
固定負債合計	877,330	742,301
負債合計	9,901,897	10,390,532

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	26,613,843	26,873,811
自己株式	△3,163,717	△3,163,777
株主資本合計	61,599,976	61,859,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△969,849	△2,384,875
為替換算調整勘定	△3,036,455	△3,253,600
その他の包括利益累計額合計	△4,006,304	△5,638,475
少数株主持分	5	185
純資産合計	57,593,676	56,221,594
負債純資産合計	67,495,573	66,612,126

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	25,838,432	27,376,445
売上原価	21,917,508	22,754,282
売上総利益	3,920,925	4,622,163
販売費及び一般管理費	3,528,403	3,707,341
営業利益	392,521	914,821
営業外収益		
受取利息	80,609	65,737
受取配当金	210,897	178,285
その他	48,386	74,875
営業外収益合計	339,893	318,897
営業外費用		
売上割引	30,491	34,207
開業費償却	－	13,877
為替差損	194,882	74,523
その他	35,060	16,561
営業外費用合計	260,433	139,167
経常利益	471,981	1,094,551
特別利益		
固定資産売却益	16,111	11,607
投資有価証券売却益	－	5,736
貸倒引当金戻入額	221	808
負ののれん発生益	397,135	－
特別利益合計	413,466	18,151
特別損失		
固定資産売却損	5,922	13,444
固定資産除却損	2,900	1,485
減損損失	6,000	26,000
投資有価証券評価損	5,355,012	－
特別退職金	－	95,404
災害による損失	－	109,345
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,219	－
その他	31,346	73
特別損失合計	5,411,399	245,750
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,525,952	866,952
法人税等	2,044	331,201
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,527,996	535,751
少数株主利益	356	2
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,528,352	535,749

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△4,527,996	535,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,296,757	△1,415,026
為替換算調整勘定	△660,581	△217,153
その他の包括利益合計	636,176	△1,632,178
四半期包括利益	△3,891,820	△1,096,427
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,878,306	△1,096,435
少数株主に係る四半期包括利益	△13,514	8

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△4,525,952	866,952
減価償却費	1,254,432	1,264,324
負ののれん発生益	△397,135	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	51,638	△260
貸倒引当金の増減額（△は減少）	931	△566
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△79,233	△94,178
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	14,582	5,081
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	△48,673
受取利息及び受取配当金	△291,506	△244,022
為替差損益（△は益）	260,752	5,929
固定資産除却損	2,900	1,485
有形固定資産売却損益（△は益）	△10,189	1,837
投資有価証券評価損益（△は益）	5,355,012	－
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	－	△11,400
減損損失	6,000	26,000
売上債権の増減額（△は増加）	△619,230	△1,294,130
たな卸資産の増減額（△は増加）	367,131	△271,464
仕入債務の増減額（△は減少）	1,019,722	159,739
その他	△194,627	△113,682
小計	2,215,227	252,972
利息及び配当金の受取額	289,150	249,483
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△409,286	62,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,095,091	565,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,238,790	△17,301,371
定期預金の払戻による収入	16,789,880	16,382,420
有形固定資産の取得による支出	△1,462,710	△1,053,180
有形固定資産の売却による収入	22,288	165,181
無形固定資産の取得による支出	△45,154	△11,165
投資有価証券の取得による支出	△964	△1,041
投資有価証券の売却による収入	－	28,271
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△217,781	－
貸付けによる支出	△519,136	－
貸付金の回収による収入	3,685	264
その他	6,372	101,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,662,310	△1,688,865

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△343	△60
配当金の支払額	△281,123	△277,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,466	△277,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△196,858	△171,708
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,045,543	△1,572,813
現金及び現金同等物の期首残高	9,660,334	8,709,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,614,791	7,136,264

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,522,066	8,986,985	7,329,381	25,838,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	60,077	3,322	―	63,399
計	9,582,143	8,990,307	7,329,381	25,901,832
セグメント利益	288,428	225,823	324,793	839,044

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	839,044
セグメント間取引消去	22,170
全社費用(注)	△468,693
四半期連結損益計算書の営業利益	392,521

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,936,945	7,957,845	8,481,655	27,376,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	95,592	13,436	―	109,028
計	11,032,537	7,971,281	8,481,655	27,485,473
セグメント利益	781,573	234,024	323,602	1,339,199

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,339,199
セグメント間取引消去	3,598
全社費用(注)	△427,975
四半期連結損益計算書の営業利益	914,821

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。